

(2)総合評価

計画主体の評価及び今後の課題とその解決策

目標	本事業により実施した目標の分析とその評価	今後の課題とその解決策
森林整備の推進	本事業により林業機械を整備したことにより、間伐生産の作業効率が向上し、目標を大幅に達成することができた。	今後も安定的に事業を実施するには、条件不利地における間伐を行っていく必要があり、路網整備や集約化等を計画的に実施していく。
森林の多様な利用・緑化の推進		
望ましい林業構造の確立		
特用林産の振興		
木材利用及び木材産業体制の整備推進		
山地防災情報の周知		
森林資源の保護		
林業担い手等の育成確保		
市町村広域連携支援		

2. 個別事業評価
森林整備・林業等振興整備交付金

(1) 施設の利用状況

目 標	メニュー	事業種目	事 業 体	施設等 区 分	設置年度	個別指標 (目標値)	達成状況					備 考
							1年目 (平成27年度)	2年目 (平成28年度)	3年目 (平成29年度)	4年目 (平成30年度)	目標年度 (令和元年度)	
森林整備の推進	高性能林業機械等の整備	林業機械作業システム整備	カルスト森林組合	林業機械導入【森林整備型】 高性能林業機械等 高能率林内作業車	平成26年度	搬出間伐の割合 (%) 10 → 15	29 193%	34 227%	30 200%	32 213%	22 147%	上段:計画 中段:実績 下段:達成率
森林整備の推進	高性能林業機械等の整備	林業機械作業システム整備	山口県西部森林組合	林業機械導入【森林整備型】 高性能林業機械等 グラブブルクレーン	平成26年度	搬出間伐の割合 (%) 6 → 15	32 213%	27 180%	10 67%	19 127%	21 140%	上段:計画 中段:実績 下段:達成率
目 標	メニュー	事業種目	事業実施主体	施設等 区 分	設置年度	個別指標 (目標値)	達成状況					備 考
							1年目 (平成29年度)	2年目 (平成30年度)	3年目 (令和元年度)	4年目 (令和2年度)	目標年度 (令和3年度)	
森林整備の推進	高性能林業機械等の整備	林業機械作業システム整備【森林整備型】	カルスト森林組合	①林業機械導入【森林整備型】 ②高性能林業機械等 ③その他(バックホウ(グラブブルウインチ付き))	平成28年度	搬出間伐の割合 (%) 17 → 21	30 143%	32 152%	22 105%			上段:計画 中段:実績 下段:達成率
優良種苗の確保	コンテナ苗生産基盤施設等の整備	コンテナ苗生産基盤施設等の整備	(株)美緑	①コンテナ苗生産基盤施設 ②コンテナ苗生産施設装置 (有)美緑 ③育苗施設 2棟 ④苗抜取機 1台	平成28年度	コンテナ苗生産量(千本) 0 → 50	30 24 80%	35 30 86%	40 37 93%			上段:計画 中段:実績 下段:達成率

目標	メニュー	事業種目	事業実施主体	施設等区分	設置年度	個別指標 (目標値)	達成状況					備考
							1年目 (平成30年度)	2年目 (令和元年度)	3年目 (令和2年度)	4年目 (令和3年度)	目標年度 (令和4年度)	
森林整備 の推進	高性能林 業機械等 の整備	林業機械 作業システ ム整備	カルスト 森林組合	林業機械導入【森林整備型】 高性能林業機械等 その他 ウインチ付きグラブ	平成29年度	間伐材利用量(m ²)	5,200	5,400				上段:計画 中段:実績 下段:達成率
						4,841 → 6,000	5,108	3,014				
						間伐材の生産性(m ³ /人・日)	98%	56%				
						4.4 → 5	4.6	4.7				
							4.8	4.2				
							105%	90%				
森林整備 の推進	高性能林 業機械等 の整備	林業機械 作業システ ム整備	山口県西部 森林組合	林業機械導入【森林整備型】 高性能林業機械等 高性能率林内作業車	平成29年度	間伐材利用量(m ²)	10,000	10,500				上段:計画 中段:実績 下段:達成率
						7,012 → 10,500	8,558	8,907				
						間伐材の生産性(m ³ /人・日)	86%	85%				
						3 → 5	3.5	4.0				
							3.4	3.1				
							96%	78%				
森林整備 の推進	高性能林 業機械等 の整備	林業機械 作業システ ム整備	山口県西部 森林組合	林業機械導入【森林整備型】 高性能林業機械等 その他 ウインチ付きグラブ	平成29年度	間伐材利用量(m ²)	10,000	10,500				上段:計画 中段:実績 下段:達成率
						7,012 → 10,500	8,558	8,907				
						間伐材の生産性(m ³ /人・日)	86%	85%				
						3 → 5	3.5	4.0				
							3.4	3.1				
							96%	78%				

(注)

- 「個別指標」の欄には、個別指標のほか目標値を記入すること。
- 「達成状況」の欄には、上段に目標値に対する各年度の実績を、下段に達成率(実績/各年度ごとの目標値)を記入すること。なお、製品出荷量実績におけるJASの格付率または入荷量に占めるJAS製品の割合の報告を要する場合は、達成率の下に括弧書きで記入すること。各年度ごとに目標値を設定している場合は、最上段にそれぞれ記入すること。
- 報告年度については、本要領第7の2若しくは第9の3に基づくこと。
- 利用料等を徴収する施設を整備した場合は、施設全体の実績のほか、利用料金等を徴収する施設ごとの実績についても記入すること。
- 木造公共建築物の整備により整備する施設においては、原則として施設利用者に対してアンケートを行うこと等により施設の波及効果を調査することとし、その集計結果を達成状況報告の提出の際に添付すること。
なお、アンケートの内容には、以下の(1)~(3)を含めること。□
(1) 当施設の利用で木材利用の意義や木の良さについて理解が深まりましたか(深まった、深まらない(その理由)、わからない)。
(2) 国、地方公共団体はこのような木造公共施設の建設を促進すべきですか(そう思う、そう思わない(その理由)、わからない)。
(3) ご自身が住宅を建てる場合、地域材を使用したいと思えますか(この施設を見てそう思うようになった、以前からそう思っていた、そう思わない(その理由)、わからない)。
- 木質バイオマス利用促進整備のうち、事業計画書の備考欄に「未利用材を利用」と記載したものについては、「達成状況」欄に木質バイオマス利用量の実績の上段へ、その内数として未利用材利用量を()書きにより記載すること。

メニュー	事業種目	事業実施主体	施設等区分	設置年度	項目	目標値	報告年度					備考
							運用開始年度	1年目 (平成30年度)	2年目 (令和元年度)	3年目 (令和2年度)	4年目 (令和3年度)	
高性能林業機械等の整備	林業機械作業システム整備	カルスト森林組合	林業機械導入【森林整備型】 高性能林業機械等 その他 ウインチ付きグラブ	平成29年度	収入	334,120	-	7,499	18,597			
					支出	154,231	-	9,083	15,679			
					収支差	179,889	-	-1,584	2,918			
					収入のうち 公的資金等							
高性能林業機械等の整備	林業機械作業システム整備	山口県西部森林組合	林業機械導入【森林整備型】 高性能林業機械等 高効率林内作業車	平成29年度	収入	64,000	-	47,881	79,776			
					支出	17,000	-	12,420	11,836			
					収支差	47,000	-	35,461	67,940			
					収入のうち 公的資金等							
高性能林業機械等の整備	林業機械作業システム整備	山口県西部森林組合	林業機械導入【森林整備型】 高性能林業機械等 その他 ウインチ付きグラブ	平成29年度	収入	64,000	-	47,881	55,068			
					支出	17,000	-	12,420	12,814			
					収支差	47,000	-	35,461	42,254			
					収入のうち 公的資金等							

(注)

1 「収支実績」については、以下の施設について記載すること。

ア 収支を伴う施設

- | | | | |
|---------------|-----------------|---------------------|------------------------|
| (1) 木材製材施設 | (6) 木材加工施設 | (11) 木材集出荷販売施設 | (16) 品質向上・物流拠点施設 |
| (2) 集成材加工施設 | (7) 木材材質高度化施設 | (12) 森林バイオマス再利用促進施設 | (17) チップ加工施設 |
| (3) プレカット加工施設 | (8) 特用林産物生産施設 | (13) 木質エネルギー等利用促進施設 | (18) 新しい木材活用のための加工供給施設 |
| (4) 丸棒加工施設 | (9) 特用林産物加工流通施設 | (14) 木質バイオマス供給施設 | (19) 直交集成板加工施設 |
| (5) 杭加工施設 | (10) 廃床等活用施設 | (15) 合・単板加工施設 | (20) コンテナ苗生産基盤施設 |

なお、利用料金等を徴収する施設を整備した場合は、施設全体の実績のほか、利用料金等を徴収する施設ごとの実績についても記入すること。

イ 林業機械作業システム整備により導入した林業機械(以下、「林業機械」という。)

2 「施設等区分」については、上記1のアに該当する場合は(1)～(15)を、1のイに該当する場合は【森林整備型】、【素材生産型】の別を記載し、機種についても記載すること。

3 項目の「収入のうち公的資金等」欄には、収入のうち市町村の一般財源や森林組合の他事業からの流用等施設の運営による収入以外の収入を記入すること。(収入の内数)

4 「目標値」の欄には、事業計画書の作成段階における収支計画を記入すること。なお、林業機械については、導入した林業機械による素材生産事業等に係る収支計画を記入すること。

5 「報告年度」は、本要領第7の2に基づくこととし、実績を各年度ごとに記入すること。

6 「目標年度」の欄には、目標年度の収支を記入すること。

7 「収入」は、販売額又は利用料等とすること。

8 「支出」は、固定経費及び変動経費の合計とし、減価償却費等支出に計上すべきものを正確に積み上げること。